

平成28年11月 2 日

各 位

会 社 名 ヨネックス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 林田 草樹
 (コード番号7906)
 問合せ先 常務取締役 連下 千歳
 TEL (03) 3839-7112

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 30,000	百万円 2,000	百万円 2,010	百万円 1,230	円 銭 56.44
今回発表予想（B）	31,330	2,697	2,134	1,450	66.49
増減額（B－A）	1,330	697	124	220	
増減率（％）	4.4	34.9	6.2	17.9	
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成28年3月期第2四半期）	25,218	1,499	1,490	1,085	49.94

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 59,500	百万円 3,700	百万円 3,720	百万円 2,500	円 銭 114.72
今回発表予想（B）	61,000	4,500	4,000	2,800	128.39
増減額（B－A）	1,500	800	280	300	
増減率（％）	2.5	21.6	7.5	12.0	
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	54,159	3,279	2,964	2,227	102.37

修正の理由

中国販売子会社におけるバドミントン、テニス用品の販売が順調に伸張いたしました。また、為替レートが想定していたよりも円高で推移したことにより、主に単体の売上総利益率が改善し、外貨建て費用が計画内で推移いたしました。この結果、平成28年5月10日に発表いたしました業績予想を上回ることが見込まれます。一方、通期の見通しにつきましては、4年に一度の国際大会を終え、注目度の一巡により消費行動の減速が見込まれ、為替相場のさらなる先行き不透明感が予想される中で、当社は、積極的な先行投資により競技の普及・発展に注力し、中長期的な業績向上を図ってまいります。以上の状況を踏まえ、第2四半期累計期間の上方修正を加味すると、前回発表予想を上回ることが見込まれますので、併せて通期の業績を修正するものです。

なお、期末の配当予想については、前回発表通りの1株当たり10円に変更はありません。

（注）上記の業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。

以 上